



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443

原発再稼働ストップ



*** ひまわりレポート300号記念 * 遠藤れい子さんインタビュー ***

「いのちを守る」は私の原点。貫きたい



イラスト: 星野ますみさん
「遠藤さんは太陽のような人ですね」と馬場さん

問 遠藤さん、どうして共産党に入ったのですか?
○十日町高校を卒業して、いのちを守る仕事がしたいと看護師になりました。
○日赤病院の職場の先輩の皆さんが患者を大切に看護の仕事に励み、賃上げや労働条件改善にも取り組んでいました。とても尊敬できて私も一緒に頑張りたいと日本共産党に入りました。
問 長岡赤十字病院の看護部長・副院長を歴任されましたね。
○中越地域の中核病院としてたくさんの期待が寄せられていました。医療水準を高め、3次救急病院としての機能がありました。
○医師会や厚生連中央総合病院、立川総合病院や長岡市とも協議を重ね、長岡の救急輪番病院体制もより充実するよう注力してきました。



8/27 立川総合病院でヘリポートの説明を伺う。



8/28 厚生連中央総合病院を訪問し話を伺う。

ました。
問 8月27日、28日に長岡の3大病院を訪問されて病院長や理事長さんと懇談されましたね。
○皆さんとても丁寧にお話しされました。「医療機器や診療材料などあらゆるものが値上がりした。でも診療報酬が低すぎて赤字が拡大している。」と共通の声。
○「お米の高騰は病院食も職員の生活も直撃している。人員不足の中、業務に

励んでいる職員給与も上げたいが、病院全体の経営の厳しさで思うように手当てできない。悔しい。」と切実な訴えです。

問 自民・公明・維新の3党は「医療費4兆円削減、入院ベッド11万床の削減、OTC類似薬の保険外し」を合意と報道されています。
○これが実行されれば「医療崩壊」になります。高齢者だけでなくアトピーや難病で苦しんでいる患者も、子ども医療費無料化も無い

料でなくなる。許せない。
問 遠藤さん、医療を守ってください。何とかしてください。
○私は「いのちを守る」看護師として働いてきました。医療崩壊を黙って見過ごすわけにはいきません。
○医療現場にいたからこそ課題も見えてきます。市民の皆さんや医療や介護の現場で働く方々とたくさん懇談させていただき、皆さんの声を再び県議会に届けたと思います。

消費税減税の実現を

参議院選挙が終わって早一カ月。「遠藤カー」で市内各地を回り街頭でお話ししています。「一刻も早く消費税減税を実行して」の声が寄せられます。多くの政党が公約していた消費税減税。具体化のために力を合わせてほしいものです。

遠藤れい子の笑顔でファイト

防衛費でなく暮らし応援の予算を増やせ 令和8年度の概算要求が報道されました。

県民の声を大きくして「原発ゼロ」を実現しましょう。



防衛予算は何と9兆円に迫ります。暮らし応援にこそ、税金を使うべきです
原発ゼロへ 政府は柏崎刈羽原発再稼働に向けて突き進んでいます。福島事故は原発が安全でないことを示しました。日本は地震大国であり、原発の再稼働はやめるべきです。